



新校舎落成・創立110周年記念式典実施

明治42年に須賀川尋常高等小学校から女子部として独立し、本校の歴史がスタートしました。尋常高等小学校時代の女子部の校舎を「北星」寮と呼んだことから、第二小学校は北星の愛称で親しまれるようになったとも言われています。北の夜空の中心に輝く北極星のように「中心」「輝き」「不動」を願う思いが凝縮された「北星教育」も同時にスタートしました。

校舎は、大正13年に長祿町に建設され、老朽化に伴い昭和47年から3年かけて、鉄筋コンクリートの校舎が建設されました。その校舎も大規模耐震補強が必要となり平成26年6月に新校舎改築工事が開始され、平成28年3月に木造の旧校舎の跡地にこの堂々たる新校舎が完成しました。

校舎設計のコンセプトは、「夢、希望を育む安全・安心な学校」それは、まさに、東日本大震災を経験した保護者や地域の大勢の方々の願いが込められたものでした。校舎は、中心市街地を学区に持つ「まちなかの第二小学校」らしく、敷地に制限がありコンパクトではありますが、ゆったりとして伸びやかな作りと多様な空間の繋がり、子ども達に安心感を与え夢や希望を育むにふさわしい素晴らしい校舎となっています。毎日、校舎や校庭から子どもたちの明るい歓声が聞こえ、目を輝かして学習に取り組む姿を見られることは、私たち教職員にとってもうれしい限りです。



在校児童と私たち教職員は、新校舎落成・創立110周年の節目の行事に参加できることを誇りに思うとともに、これまで須賀川市立第二小学校を支えていただいた方々に心から感謝し、皆様方が築いてこられた輝かしい110年の歴史と伝統を大切にしながら、これからも学校・家庭・地域と手を携えて、「北星教育」を一層推進し、子どもたちの夢と希望の実現に向け、一丸となって取り組む所存です。

これまでお寄せいただきました関係各位の深いご理解と温かいご援助に対し、心より感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

「二宮金次郎像にまつわるちょっといい話」

体育館東側の門の近くに「二宮金次郎像」があります。この像はもともと旧プールの前に立っていました。新校舎建設で今の場所に移設されました。この像を移動する時に、台座の中から10cm弱のたくさんの石が出てきました。調べた結果、この像が建立された昭和17年の卒業生180名一人一人が自分の名前を書いて台座の中に入れたことがわかりました。今もこの像の中に入って、須賀川二小の後輩の子どもたちを見守っているのです。

※式典受賞者あいさつ：麻生能孝前校長先生のあいさつから

昭和17年(1942年)は太平洋戦争の真ただ中、米軍の日本空襲が始まった時期でもある。当時の子どもたちは、何を思い・何を願い石に自分の名を刻んだのだろうか。現在86歳か87歳になられています。



式典 児童代表あいさつ 6年 須田 菜月

私たちの学校須賀川市立第二小学校は、新しく校舎ができ、そして創立110周年を迎えます。110年間はとても長い期間です。

私の家は、代々ずっとこの土地に住んできた家です。母も祖父もまたこの学校で学びました。祖父は、紙を取り出し、ペンを走らせてまるで今も通っているかのような正確さで当時の学校の校舎の絵を描きながら話してくれました。全て木で作られていた校舎。昇降口の前にあった築山に登って遊ぶ子どもたち、梅の木と桜の木が交互に植えられていたという校庭。祖父はなんだか嬉しそうでした。

110年分のたった6年間しか過ごしていない私にもたくさんの思い出があります。運動会、鼓笛パレード、二小遊び隊、なかでも新校舎が出来上がっていくのを見ているのは、とても楽しみでした。

完成した校舎は、明るく、暖かく、そして防音設備のおかげで静かです。夏もエアコンがあるのでとても快適です。このような校舎で勉強できることに感謝し、これからも大切に使いしていきたいと思えます。

110年間、今まで二小に関わって過ごしてきた人たちみんなに私と同じように、その人だけの二小があることを思うと、私はあったこともないその人たちと心がつながっているような気がして、少し幸せな気分になります。「過去と、未来をつなぐために、私たちは、ここにいる」。私の好きな言葉です。

私たち一人一人の6年間は大切な役目を持った6年間です。今日のこの日も、過去と未来をつなぐ一日。今日この日にここにいた二小の仲間たち、先生方、地域の皆さんたちと一緒に、二小の110歳の誕生日をお祝いできることを私はとても誇りに思います。

明治時代の二小が110年後、平成29年度の私たち二小生につないできたものは、ちゃんと次の110年後の二小生に渡したいと思えます。いくつになっても、二小は私たちの母校です。



式典を終えて 6年 布田 颯人

二小が110年も続いていることがすごいと思いました。それは、地域の人からも親しまれているということの意味しています。

最初の木造校舎からは当時の歴史を感じました。鉄筋コンクリートの旧校舎には4年間お世話になったので、とても心に残っています。二小の校舎の移り変わりを知り、新校舎を大切にしていこうという思いと、これから自分も伝統をつたえていきたいという思いが強くなりました。



藤居ジュンコさんとの二小コンサート 今もむかしもだいすき二小！ 全員合唱「ふるさと」は感動的でした！